

# 京丹後市総合計画・基本計画の体系

将来像と基本理念

基本方針

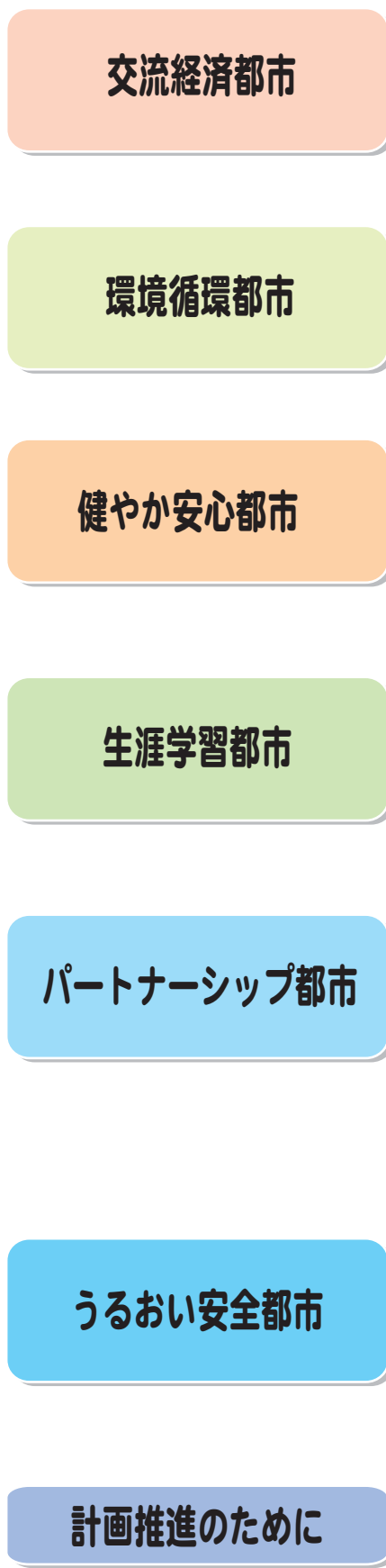
計画項目

ひとみずみどり  
歴史と文化が織りなす交流のまち

**地域力**  
豊かな自然や歴史・文化の恵みを活かし、世界に誇れるまちづくりをめざします

**安心力**  
ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします

**活性力**  
ひとが育ち、夢がふくらみ、未来に飛躍するまちづくりをめざします



ひとみずみどり・ものごと・交流の先進地  
新・丹後王国の創造に向けて

- 定住の促進
- 農林業の振興
- 漁業・海業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 京丹後ブランドの販売戦略
- 自然環境の保全と創造
- 新しいエネルギーの導入と活用
- ごみ・廃棄物対策
- 循環型社会の構築
- 市民主体の健康づくりの推進
- 医療保険制度の一層の充実
- 患者本位の医療体制の充実
- 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
- 共に生きる障害者福祉の充実
- 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
- 子育ての支援
- 学校教育の充実
- 若者の育成
- 社会教育・スポーツの充実
- 歴史文化遺産の保全と活用
- 地域コミュニティの強化
- 協働と共創のまちづくりの推進
- 人権の尊重
- 男女共同参画の推進
- 国際交流と地域間交流の推進
- 文化芸術活動の振興
- 適正な土地利用の推進
- 道路ネットワークの整備
- 河川・海岸・港湾の整備
- 住宅の供給と安心できる住環境の整備
- 地域交通の確保
- 上下水道の整備
- 防犯・交通安全の推進
- 消防・防災体制の強化
- 地域情報化の推進
- 効率的な行財政運営の推進

# 平成20年度の主な仕事をご紹介します

## I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市

### 1 定住の促進 京丹後の魅力を発信し 交流人口の増加へ

■京丹後ふるさと応援団運営事業  
【総務費】(継続) 237万円  
(企画政策部 総合戦略課)

本市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と定住の促進を図るため、「京丹後ふるさと応援団」を組織し、本市の発展を応援してくれる人々の輪を全国に広げています。また、団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市をPRする特製名刺を全国で配布するなど京丹後の魅力発信の取り組みや、ふるさと応援大使の交流会も実施することとしています。

- 入団資格  
本市以外に在住のかた
- 入団費  
1,000円(毎年必要)
- 特典  
年4回の会報誌送付、市内協賛店での優待特典など



会報誌と特製名刺

■農村コミュニティ再生・活性化事業補助金  
【農林水産業費】(継続) 175万円  
(農林水産部 農村調整課)

NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会が、京丹後市内で行う都市農村交流、地域特産物の販路拡大、定住促進、地域活性化などの事業を支援します。(平成19年度～平成21年度)



昔ながらの手作業での田植え

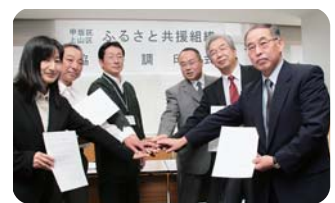
## 限界集落対策に全力で取り組みます

■ふるさと共援活動支援事業補助金  
【農林水産業費】(新規) 160万円  
(農林水産部 農村調整課)

京丹後市内231集落のうち、65歳以上のかたが50%を占めるいわゆる限界集落は17か所、準限界集落は62か所と数多く存在します。

過疎化・高齢化の進んだ農村集落と大学や企業、NPO法人などの集落外の協力者で構成する「ふるさと共援組織」が、一体となって取り組む再生計画づくりや再生活動を支援します。

本年度は、丹後町上山地区と久美浜町甲坂地区で取り組まれます。(平成20年度～平成22年度)



ふるさと共援組織協定調印式

■求人情報サービス事業  
【労働費】(継続) 35万円  
(商工観光部 商工振興課)

市内の公共施設などに設置しています「タッチパネル式情報端末機」で手軽に求人情報をご覧いただけます。この端末機では、近隣のハローワーク(峰山、宮津、綾部、舞鶴、福知山、豊岡)から毎週提供される最新の求人情報を公開しています。



タッチパネルで求人情報を検索

## 2 農林業の振興

### 農業振興策のさらなる充実

■茶生産振興対策事業費補助金  
【農林水産業費】(継続) 800万円  
(農林水産部 農村振興課)

お茶の一大産地となるよう茶園の拡大と茶生産の振興を図るため、茶生産組合が茶園に新たに苗を植えたり、省力化のための共同利用機械を購入する費用の一部を助成します。



久美浜町永留の茶園